

## GX リーグへの参加にあたって「トランジション戦略」報告書

TAOKE ENERGY 株式会社は、GX リーグに参画志望企業として、2050年のカーボンニュートラル実現に向けたトランジション戦略を策定いたしました。2030年、2050年の環境目標達成と脱炭素社会の実現を目指し、電力など先進の推進システム開発に向けて協力をしてまいります。

### 【GXリーグ】

GXリーグとは、2050年カーボンニュートラル実現と社会変革に取り組み、持続的な成長を目指す企業群が官・学とともに協働する場です。2022年に経済産業省が「GXリーグ基本構想」を発表したのち、2023年度より活動を開始しました。

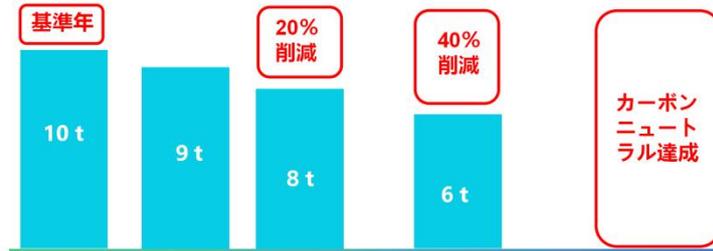


### ①Scope2 排出削減目標

「GX-ETS における第1フェーズのルール」に従い、国内直接・間接排出に関する削減目標の設定と、その達成に向けた削減取組の実施及び実績の公表を行います。2050年カーボンニュートラル達成を念頭に、当社は Scope2 に関する 2030年までの排出削減目標を策定いたしました。（基準年度：2021年度）

年度	2021基準年	2024	2025	2030	2050
CO2排出量	10 t	9 t	8 t	6 t	0 t

## CO2排出量削減計画



Scope2	運用見直し	電力運用改善	2025
	省エネ	省エネ設備拡充、ペーパーレス化オフィス推進	2030
	再エネ	太陽光発電所や蓄電所へ投資	2050

※Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

### ●電力運用改善

エアコンの温度設定を見直し、冷房時は 26 度で、暖房時は 20 度といった節電設定にすることで、エネルギー消費を削減できます。省エネモードを活用することで、無駄なエネルギー消費を抑えられます。なお、社員がエネルギーを無駄にせず、積極的に節電に貢献するためのルールを制作します。部屋を離れる際には、不要な照明を消灯します。自然光が入る場所では、昼間は照明を減らします。

### ●省エネ設備拡充、ペーパーレス化オフィス推進

冷蔵庫、電子レンジなどの省エネ型電器を導入することで、エネルギー消費を削減できます。本来紙で使用する予定だった文書や資料を、可能な限り電子版に置き換えることで、ペーパーレス化を推進し、資源の節約を図り、CO2 の排出量を削減します。

### ●太陽光発電所や蓄電所へ投資

太陽光発電所と蓄電所へ投資による再生可能エネルギーを生成し、従来の電力消費を再生可能エネルギーで補い、持続可能なエネルギー使用を実現できます。

温室効果ガスの排出を 2030 年度は Scope2 で 40%削減し、2050 年度における Scope2 の排出量ゼロを目指します。

またそれと並行して地域やお客さまに向けた脱炭素支援を推進し、社会全体の気候変動に関する取り組みを加速させます。

## ②自社の取り組み・施策

### ・脱炭素エネルギーの共同調達について

サプライチェーン上流の事業者に対し、当社はサプライヤーからの蓄電池ラック、PCS、DC/DC コンバータをインテグレーションして、日本市場に向けて様々なニーズに応じられる蓄電池システムを提供し、自社開発した「EMS+ SmartOM」で全体の制御と運営管理を担います。



※自社開発した EMS



※自社開発した SmartOM

### ・排出量削減に関わる知見共有について

海外サプライヤー向け日本市場の再エネ政策、及び排出量削減標準に関する勉強会を実施します。日本の脱炭素化に関する情報を CATL 社に共有し、CATL も GX 組織への参画を提案することで、日本 2050 年の環境目標達成と脱炭素社会の実現に向けて協力します。

・自社製品の脱炭素性能の PR について

サプライチェーン下流の需要家に対し、当社は脱炭素経営 EXPO、PV EXPO 展示会を毎年出展し、来場者向け自社の蓄電池システムの脱炭素性能をアピールします。また、電車・雑誌・web 広告のタイアップを通じて、蓄電池の導入により、様々な脱炭素効果（電力代削減、再エネ有効活用、BCP）を実現できることを常に PR しています。



※2022年第一回脱炭素経営 EXPO に出展



※2023年 PV EXPO 展示会に出展



※展示会期間中電車に広告を掲出

・自社以外が開催するフォーラム等への定期的な参加について

JPEA, ERA, REASP の再エネ業界の協会を年会し、会員として定期的に有識者会議、勉強会などを参加することを通じて、再生可能エネルギーの導入促進や有効活用の向上に貢献し、カーボンニュートラル社会の実現に寄与します。

業界媒体、団体が主催するフォーラムを定期的に参加するだけでなく、講演者としてセミナーにて脱炭素社会の構築をテーマとして自社の取り組み、課題の提出、サービスの提案などを行います。



※第 29 回 PV ビジネスセミナーに講演者として参加



※2024年 REASP 協会活動に参加

### ・脱炭素製品の市場投入について

ソーラージャーナル、環境ビジネスなどの雑誌に自社の系統用蓄電所やサービスをアピール記事を掲載し、または Google 検索広告を効果的に投放することで、ターゲット層にリーチし、効果的なプロモーションを実現できます。



※2024年7月のソーラージャーナル雑誌（夏号）

### ・脱炭素エネルギーの製造・供給について

再エネの大量導入によって、送配電網に需給バランス調整のニーズが高まり、系統用蓄電所の活用は期待されています。当社は蓄電所事業の参入により、蓄電池システムの製造・インテグレーションはもちろん、開発に繋がる空地の有効活用、投資者の意欲喚起などに向けて、積極的な取り組みも展開中です。



※2MW/ 8.14MWh 高圧系統用蓄電池システム

・ISO14001 取得した企業からの調達について

ISO14001 取得した CATL 社・NR 社・SINEXCEL 社から蓄電池設備を調達し、一層強固なパートナーシップを結びます。



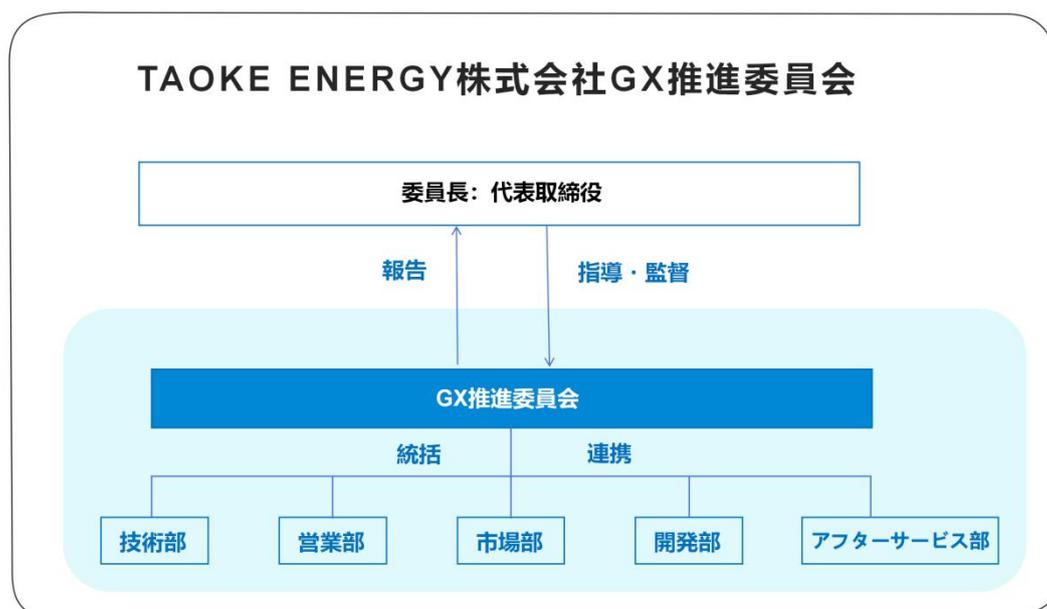
※TAOKE ENERGY の熊本県の納入現場



※TAOKE ENERGY の香川県の納入現場

### ③ガバナンス体制

当社のカーボンニュートラル実現に向けた取組みは、全常勤役員で構成されて、代表取締役を委員長とする GX 推進委員会を新設いたします。委員会にて戦略立案・推進を行う体制とし、加えて、戦略の進捗状況についても定期的に委員長へ報告することで戦略の実効性の向上を図ります。



カーボンニュートラルへの貢献として掲げた「再生可能エネルギー・系統用蓄電所・産業用蓄電池の導入支援」などの業務は、現在もさまざまなお客さまへご提供しているサービスです。

今後は、CO2 排出量の報告を行うとともに、GX リーグの参画企業と協働してカーボンニュートラル社会の実現に向けて取組みを強化していく考えです。当社は、来たるべきカーボンニュートラル社会へ向けて、時代を先取りし、さらに新しいチャレンジを続けながら持続可能な経済社会の実現に貢献してまいります。